



豊里

一流への近道は基礎しっかり

「登米市内中学校新人野球教室」は11月27日、豊里運動公園で開かれ、日本製紙石巻硬式野球部員が市内の中学生に野球技術を指導しました。野球教室は市野球協会が主催。市内6中学校の1、2年生の野球部員70人が参加しました。日本製紙野球部員は、ボールを受けるときには「必ず正面に回ること」など基本動作を指導しました。中学生たちは、少しでも多くのことを吸収しようと、真剣に指導を受けていました。

年末年始に向け米山の味送る

道の駅米山・ふる里センターY・Yは12月16日、みやぎ登米農協アグリピア館で、米山町ふるさとパックの発送準備をしました。米山町ふるさとパックは「ふるさとの香りをあなたに」をキャッチコピーに、夏と冬の年2回、町内産野菜、加工品や市の名産品などを、全国各地に発送するものです。今回は、新米、ちぢみハウレン草や切り餅などを約300個箱詰めし、全国に発送しました。



米山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

新年に向けて恒例の歓喜の歌

「歓喜に寄すを歌う会」は12月9日、新田中で開かれ、同中生徒77人の美しいハーモニーに約80人の聴衆が魅了されました。今回で27回目を迎えた歌う会は「登米市市民歌」などを合唱し、会場には澄んだ歌声が響き渡りました。また、生徒代表が「ベートーベンと第九」「歓喜に寄す」を朗読しました。最後は「歓喜の歌」「ふるさと」で締められ、歌い終えた生徒に会場から大きな拍手が送られました。



石越

日暮れ早い時期は4時ライト

「4時ライト運動」は11月24、25の両日、石越総合支所入口の県道で実施され、佐沼地区交通安全協会石越支部員、石越地区交通安全母の会々員らなどが、ドライバーに早めのライト点灯を呼び掛けました。4時ライト運動は、佐沼警察署の協力のもと、夕暮れ時の交通事故防止を目的に実施。参加者は夕暮れ時の寒さに負けず、通行するドライバーに安全運転と早めのライト点灯実施を促しました。

交通死亡事故ゼロ2千日達成

登米町寺池地区の「交通死亡事故ゼロ2千日達成表彰式」は12月26日、登米総合支所で開かれ、登米市交通安全対策協議会から寺池地区コミュニティ推進協議会(阿部さち子会長)へ表彰状が贈られました。同地区は、平成23年7月から交通死亡事故ゼロを継続しており、12月21日に2千日を達成しました。阿部会長は「これまで以上に地域で事故防止に取り組み、2500日、3千日と積み上げていきたい」と決意を新たにしました。



登米

飲酒運転根絶に向けて呼び掛け

「飲酒運転根絶・早めのライト点灯キャンペーン」は12月22日、市役所南方庁舎前県道で実施されました。同キャンペーンは、佐沼地区交通安全協会南方支部が年末年始の交通事故増加抑止と安全運転の啓発を目的に実施。同日は、あいにくの雨模様の中、協会役員37人と佐沼署警察官3人が啓発用のぼりを持って、市役所南方庁舎前県道の歩道に整列。通過するドライバーに、年末年始を機に飲酒運転根絶と安全運転の徹底を呼び掛けました。



南方



東和

自ら作り楽しむクリスマス会

「ジュニアリーダー育成教室クリスマス会」は12月18日、米川公民館で開かれ、米川小1～5年生16人と、ジュニアリーダーサークル「クルックる」メンバー8人が参加し、手づくりクリスマスを楽しみました。子どもたちは「指令ゲーム」で宝探しをした後、バスタやケーキを調理する班、クリスマスのパネルを飾り付ける班に分かれてパーティーの準備。「ゲームやみんなで準備したのがおもしろかった」と楽しいひと時を過ごしました。



津山

楽しいクリスマスはみんなで

「平成28年度クリスマス会」(津山町子ども育成会主催)は12月23日、津山老人福祉センターで開かれ、津山地区小学生42人とジュニアリーダーが参加し、1日早いクリスマスを祝いました。クリスマス会は、オリジナルカード作成や景品が当たるビンゴ大会に子どもたちは大喜び。みんなで楽しい時間を過ごしました。会終了時には、ジュニアリーダーから参加者にクリスマスプレゼントが手渡されました。

地域全体で伝承「上沼鳥舞」

「うわぬめ元気プロジェクト」(上沼コミュニティ運営協議会主催)は12月10日、上沼ふれあいセンターで開かれ、上沼小で伝承されている「上沼鳥舞太鼓」のかぶとを制作しました。かぶとの制作は、地域で子どもたちが演舞を披露した際、劣化が進んでいたことに気付いた同プロジェクト員が地域住民に呼びかけたもの。同日は、小中学生をはじめ同校教師や地域住民が、鳥舞への思いを語りながら作業しました。本年は、新しいかぶとでの演舞が披露されます。



中田